

講義名	経営統計学		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	多井 剛		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限	授業形態	
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 福祉マネジメントコース / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービス心理コース / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 スポーツ健康マネジメント / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービスマーケティング / 2014年度 サービス産業学部		
履修開始年次	3年生	単位数	2
備考			
主題と概要			
<p>本講における経営統計とは、競合他社と自社の財務内容に關した統計と、それに基づいた収益性、成長性、安全性などを示す一連の分析的指標および、自社市場の生産、出荷、在庫、販売などの状況さらに、海外、国内の景気動向を表す統計結果とします。</p> <p>本講では経営課題のひとつである「合理化」に対して経営統計をどのように利用するのか論じます。</p>			
到達目標			
<p>受講生は組織に於いて正しいデータの扱い方と統計結果の表示方法、正しい統計の判別ができることを目標とします。これによって、将来は優れた経営判断のサポート人材になることを目指します。</p>			
提出課題			
<p>理解度を測るために、小テストやレポートなどの課題を課することがあります。</p>			
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
<p>クラスの理解度に応じて授業内容を調整します。</p>			
評価の基準			
<p>提出課題の内容を総合的に評価します。提出課題の不提出は即不合格になります。</p>			
履修にあたっての注意・助言他			
<p>良い成績を修めるには、RYUKA Portalでの配布資料のほかに、ノートを書くことが必要です。配布資料上にノートを書くためにタブレットPCなどを活用するのはよいことです。</p>			

教科書
.使用しない。
プリント資料及び参考文献
講義内容は事前にRYUKA Portalの講義連絡に保存して学生と共有します。
授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. データサイエンスと統計学 2. データサイエンスに求められるスキルや知識 3. データ解析ビジネス 4. ビッグデータと機械学習 5. PPDACサイクル 6. 統計分析の概念1（変数の選択） 7. 統計分析の概念2（変数の比較） 8. 統計分析の概念3（可視化1） 9. 統計分析の概念4（可視化2） 10. 統計手法1（相関関係） 11. 統計手法2（時系列） 12. 統計手法3（予測とモデル評価） 13. 分析結果の評価 14. 政策と統計 15. まとめ
授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p>授業で使う資料は、RYUKA Portalの講義連絡にて事前に配布しますので、予習・復習に利用してください。</p>
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
実務経験の有無及び活用
備考